

## 鹿島小学校5年生における佐賀県学習状況調査の結果分析と今後の対応について

### ◇【教科に関する調査から】

#### 【国語】

- 県平均よりやや下回っています。「書くこと」「読むこと」についてはほぼ県平均となっていますが、言語事項（漢字の読み・書き・語句に関する）が低い結果となっています。
- 基礎的・基本的な知識・技能に関することの底上げのために、今後家庭との連携を図りながら家庭学習の充実に取り組んでいきます。

#### 【社会】

- 県平均を大きく上回るよい結果となっています。特に、関心・意欲・態度については大変高く、意欲を起すような教材提示の工夫などが功を奏していると考えています。
- 今後、思考力・判断力、更に資料から読み取れることを自分の言葉や文章で表現できる力を身につけるような指導に力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

#### 【算数】

- 県平均を大きく上回るよい結果となっています。知識・理解が特に良き結果となっています。領域については、量と測定や数量関係がよい傾向となっています。
- 今後、生活と関連した課題の提示など興味関心を高める授業の工夫を行っていきます。また、継続的な個別指導により基礎的・基本的な事項の確実な定着を図っていききたいと考えています。

#### 【理科】

- 県平均とほぼ同じ結果となっています。ただし、思考や知識・理解がやや下回っています。領域では「地球と宇宙」がやや低い傾向にあります。
- 今後は、できるだけ体験学習を多く取り入れ、学んだこと、分かったことを確実に理解するために、実験後のデータの整理や結果から考えられることを自分なりに表現できる力を高めていきたいと考えています。

### ◇【児童の意識に関する調査から】

- 楽しいと考えている教科は正答率が大変高いです。
- 家では手伝いをよく行っています。
- 授業中分からないことは先生や友達に聞くなど何とかしようとする子どもが多いです。
- 学校での読書や家庭での読書時間が多く、よく本を読んでいます。
- 勉強が好き、勉強は大人になって役に立つと考えている子どもがやや少ない傾向です。
- テレビ視聴やゲームの時間が長いため就寝時間が遅くなっています。
- 朝食を食べている子どもの割合が県平均を大きく下回っています。